

Citation: Duthie J, Wilson DI, Herbison GP, Wilson D. Botulinum toxin injections for adults with overactive bladder syndrome. *Cochrane Database of Systematic Reviews* 2007, Issue 3. Art. No.: CD005493. DOI: 10.1002/14651858.CD005493.pub2.

CRG名: Incontinence

[最新版\(英語版\)はこちら](#)

英語版最終改訂年月: 22 May 2007

Clib issue No.; N/U: 2007 issue 3; New review

背景: 過活動膀胱症候群は、生活の質に顕著な負の影響をもたらす一般的にみられる状態である。ボツリヌス毒素の膀胱内注入は、難治性の過活動膀胱に対する介入として次第に使用されており、文献上、かなりの症例報告および症例集積によって有益な効果が示唆されている。

目的: 成人における神経原性および特発性の過活動膀胱に対するボツリヌス毒素の膀胱内注入とその他の治療法を比較することを目的とした。ボツリヌス毒素の膀胱内注入の方がプラセボや無治療、薬物介入および薬物以外の介入よりも優れているかどうか、高用量のボツリヌス毒素の方が低用量よりも優れているかどうか、ボツリヌス毒素と他の治療法併用の方が他の治療法単独よりも優れているかどうか、ボツリヌス毒素製剤の方が他の製剤よりも優れているかどうか、ある注入法が他の注入法よりも優れているかどうかについての仮説を検討した。

検索戦略: Cochrane Incontinence Group Specialised Trials Register(2005年11月22日に検索)を検索した。本registerには、MEDLINE、CINAHL、Cochrane Central Register of Controlled Trials(CENTRAL)、および雑誌のハンドサーチおよび学会大会予稿集から同定された試験が含まれている。さらに、選択した試験のすべての参考文献リストを検索した。検索に制限は設けなかった。

選択基準: 成人の過活動膀胱症候群に対する治療について、少なくとも1つの群がボツリヌス毒素の膀胱内注入に関する、すべてのランダム化および準ランダム化比較試験を含めた。参加者は、ストレス性尿失禁を伴うまたは伴わない、神経原性または特発性の過活動膀胱を有した。比較した介入には、無介入、プラセボ、生活習慣の修正、膀胱再訓練、薬物治療、手術、膀胱内注入法、神経調節、ならびにボツリヌス毒素の様々な種類、用量および注入法があった。

データ収集と分析: 二値アウトカムは相対リスクで表し、連続値アウトカムは平均差で表した。デザインおよびアウトカム指標が異なるため、試験全体でデータを統合できなかった。可能な場合はデータを表に記入し、これが可能でない場合は試験報告から結果を得た。

重複した報告が見出された場合は、それらの報告は1つのデータ源として扱った。

主な結果: 8件の研究が選択基準を満たした。結果は試験によって異なった。ほとんどの場合、研究において、失禁エピソード、膀胱容量、最大排尿筋圧および生活の質などのアウトカムについて、プラセボに対するボツリヌス毒素Aの優位性が報告されていた。低用量のボツリヌス毒素(100U~150U)は有益作用を有すると考えられるが、高用量(300U)の方が効果が高かった可能性がある。ボツリヌス毒素は過活動膀胱において、レシニフェラトキシン膀胱内注入の効果を量的に上回る有益作用を有すると思われる。

レビューアの結論: ボツリヌス毒素の膀胱内注入は過活動膀胱症候群に対する治療法として有望であるが、他の介入またはプラセボと比較した場合の利益および安全性に関する比較試験データはほとんどない。医師は、現時点ではボツリヌス毒素の膀胱内注入の有効性を支持するエビデンスは症例報告形式の事例報告しか存在しないことを認識すべきである。実質的で頑健な安全性データの形ではそれほど多くない。さらに、ボツリヌス毒素の有効性および安全性に関する最適用量は未だに示されていない。

(監訳 内藤 徹)

ご注意:この日本語訳は、臨床医、疫学研究者などによる翻訳のチェックを受けて公開していますが、訳語の間違いなどお気づきの点ございましたら、Minds事務局までご連絡ください。なお、コクラン・ライブラリは年4回改定版が発行されます。Mindsでは最新版の日本語訳を掲載するよう努めておりますが、編集作業に伴うタイム・ラグが生じている場合もあります。ご利用に際しては、最新版(英語版)の内容をご確認ください。